

沖縄で唯一となる足の病気とトラブルを治療し、予防する外来 「足と傷のセンター」を5月29日に新規開設します

社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院（院長：佐久川 廣 沖縄県中頭郡中城村）は、5月29日（水）より県内唯一となる「足と傷のセンター」をオープンし専門診療をスタートします。

健康寿命を延ばすためには運動の基本となる「歩く」ことが重要です。そのためには「足」がしっかりといていないなりません。歩くことにより、心肺機能の向上、高血圧の予防、骨粗しょう症の予防、糖尿病の予防、肥満の予防などに効果がありますが、現実には多くの方が足のトラブルに苦しんでいます。

足の慢性創傷を専門に扱う当センターの開設を県民の皆様に広くお知らせしたく、是非取材にお越しいただきたくお願い申し上げます。5月29日（水）は13時30分からオープニングセレモニーを予定しておりますが、14時からは外来が開始いたしますので、13時頃より取材にお越しいただけますと幸いです。当日は担当医師の東盛が対応いたしますのでよろしく申し上げます。

■健康寿命の邪魔する足の病気

たとえば、「巻き爪・陥入爪」の痛みに苦しむ推定患者数は1,000万人といわれていますが、この人数を沖縄県の人口に換算すると約12万人にも上ります。また高齢者施設の利用者の96.5%が何らかの足の爪の異常を抱えているといわれており、爪の変形のみならずタコ、うおの目、足のむくみや痛み、外反拇趾、生活習慣病が原因のキズや潰瘍などを含めると、さらに多くの方が足のトラブルに悩まされていることとなります。歩くことが困難になると、筋肉減退、うつ、認知機能の低下、閉じこもりなど、身体機能の虚弱化を助長させ、健康寿命の維持に影響が出てきます。まさに「足は健康を支えている」のです。

足と傷のセンター担当医師

ひがしもり たかみつ
形成外科部長 東 盛 貴光

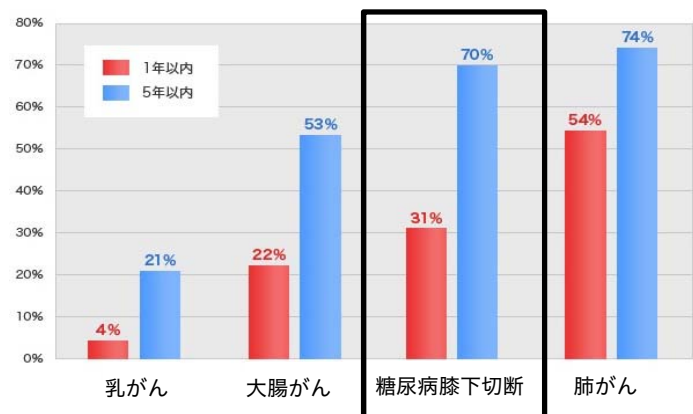


日本形成外科学会専門医
日本創傷外科学会専門医
日本熱傷学会専門医
日本レーザー医学会指導医
日本レーザー医学会専門医
日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会認定
エキスパンダー・インプラント責任医師
身体障害者福祉法指定医（肢体不自由）
下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施認定医
日本下肢救済・足病学会 九州・沖縄地方世話人
日本褥瘡学会 九州・沖縄地方世話人
沖縄実践フットケア研究会 副代表世話人

■生活習慣病による足潰瘍と足切断の患者さんの増加

現在、世界では20秒に1本の足が糖尿病により切断されているといわれております。また米国においては全ての下肢切断の約60%は糖尿病患者さんで、その内の85%は足に出来た潰瘍が原因と言われております。

（Bakker,DFCon,2013より）下肢切断後の5年後の死亡率は70%にもおよび、肺がん匹敵するという発表もあります。（Singh et al. JAMA 2005; 293. 217-228）



糖尿病と足の関係は非常に重要です。糖尿病患者さんの潰瘍発生の背景には糖尿病に罹患しているだけでなく、発症前から足に痛みや変形があるなどのリスクを持っていることが考えられます。糖尿病の診療では、足を診察することは非常に重要ですが、糖尿病患者さんの足をきちんと診察しているところは多くはありません。また糖尿病の足潰瘍は高い再発率が問題となり、1年以内で40%、3年で60%、5年で65%の患者が再発すると報告されています。

■足に対する意識と現状

日本人は足に対する意識が低く、「足を隠す」、「我慢する」などマイナスなイメージを抱く傾向があります。足のトラブルを抱えているにも関わらず、我慢や放置したままにしていると、足の病気が重症化してしまい、思わぬ手術や治療の長期化につながってしまいます。また受診しようとしても、どこの病院の、どの診療科を受診すればよいのかわからない、受診しても、日本の医学部は足に関して医学教育が存在しないため、多くの医師が適切な治療をすることができていないのが実情です。

■米国足病専門医師とドイツ整形外科的靴調整技術者と連携したサービス

ハートライフ病院では、全ての足に悩む患者さんの足を守ることを目標にして「足と傷のセンター」を開設いたします。同センターは、米国足病専門医師、ドイツ整形外科的靴調整技術者（オーソペディシューマイスター）と連携し、当院の医師、看護師、薬剤師、理学療法士、管理栄養士、医療ソーシャルワーカー等の医療チームで診療するほか、足病にならないための医療サービス、靴やインソールに関する相談、歩行維持のためのリハビリ、ケアなど保険診療を基本に、“病気を治すだけではない”その先の患者さんの人生と歩みをサポートする医療を提供してまいります。どうぞこれからも「心と心を結ぶ信頼される医療を目指します」ハートライフ病院にご期待ください。

足病医師（DPMs）とは

足病医師は足と足首の専門医師で、欧米にはごく当たり前に存在する医師になります。保存的なケアを専門とする医師もいれば、外科医としての手術治療を主にする医師もいます。多くの足病医師は医療用インソールによる治療や処方をはじめ、特に糖尿病や透析の患者さんなど、足にリスクを抱えている方のニーズに特化して診療しています。

ドイツ整形外科的靴調整技術者（オーソペディシューマイスター）とは

ドイツの国家資格を有した足と靴の専門家が行う医学的な整形外科靴制作技術です。医学、生体力学、病態学、動作分析学、靴製作学をもとに、足部に対して、痛みの軽減、変形の予防、治療促進を靴とインソールから行います。

以上